

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
宇宿中間地区

平成22年3月

鹿児島県鹿児島市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	斜面危険地帯面積(土地区画整理事業区域内)	m ²	8,878	8,066	7,140	確定 見込み		あり なし	6,384	H21年10月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	防災上危険なシラス急傾斜面の整備により、宅地の安全性が確保され、宅地の利用増進が図れた。
指標2	避難所(公園等)までの平均距離	m	192	185.4	185.4	確定 見込み		あり なし				改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	公園予定街区の敷地整備が完成したことにより、周辺住民の災害時等における避難地が確保された。
指標3	幹線道路の夜間平均照度(土地区画整理事業区域内)	ルクス	0	5	9	確定 見込み		あり なし				改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	道路照明施設の設置により、夜間における歩行者や車両通行の安全性が向上した。
指標4	都市計画道路の歩道バリアフリー化率	%	33	57	50	確定 見込み		あり なし	53	H21年10月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	数値目標は達成しなかったが、地域の要望により整備内容を見直した箇所もあり、良質な歩道整備が実施できた。
指標5	地区内居住人口数	人	45,811	46,645	46,680	確定 見込み		あり なし	46,126	H21年5月	予想以上に人口増加が進まなかった。	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	数値目標は達成しなかったが、減少抑制という目的は達した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	都市再生整備計画区域内道路の歩道整備割合	%	39	/	73	確定 見込み		/	76	H21年10月	/	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	歩道整備により、都市再生整備計画区域内の歩行者の安全性が向上した。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み		/		H 年 月	/	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み		/		H 年 月	/	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	良好な住環境の維持	整備された道路、公園等で定期的な清掃、点検、補修等を行った。	定期的な清掃、点検、補修により、良好な住環境や都市景観を維持できている。	地域住民、町内会等の積極的な参加による公園の清掃・維持管理
	児童、生徒等の通学等の安全確保	土地区画整理事業により道路築造や狭隘な道路の改善を行った。	都市計画道路において、歩道が整備され安全性が向上されつつある。	整備された道路照明等の定期的な保守点検
	整備改善された公園等の活用	整備された公園が地域防災計画の避難場所として位置づけられる。	地域防災計画に避難場所が追加され、地域における安全対策が強化された。	避難場所や避難経路の住民への周知
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	住環境の改善	地区内に公園等の公共施設の整備が十分でない箇所が残されていることから、都市再生整備計画(2期)を作成した。	作成した都市再生整備計画(2期)に基づき、まちづくり交付金事業を引き続き21年度より開始した。	地区内の地域住民のコミュニティの場や避難場所として機能する公園の不足など、都市基盤が十分でない箇所が残されていること
	歩行者及び車両通行の安全性の確保	本地区の交通安全を確保するため、都市再生整備計画(2期)を作成した。	作成した都市再生整備計画(2期)に基づき、まちづくり交付金事業を引き続き21年度より開始した。	公共施設の更なる整備改善

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項